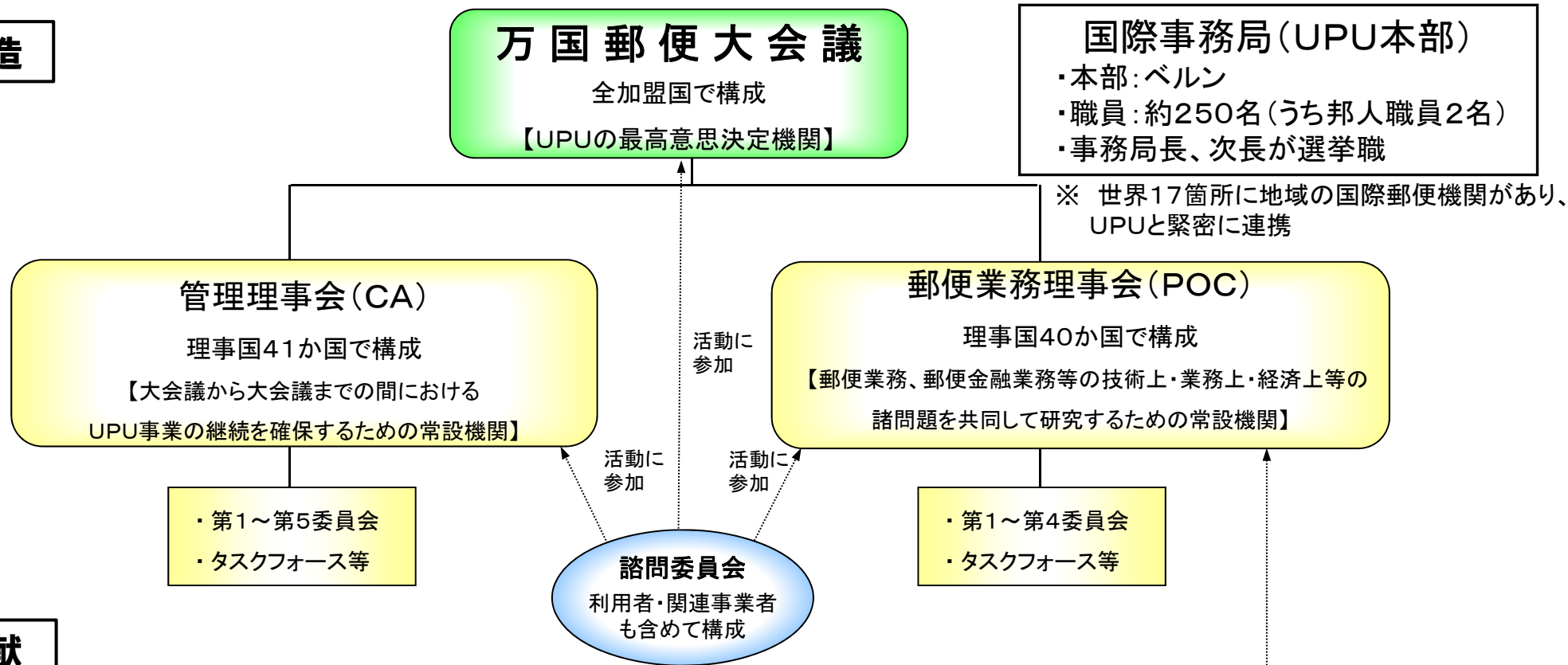


万国郵便連合（UPU）の概要

- ① 万国郵便連合（UPU）は、郵便業務の効果的運営によって諸国民の通信連絡を増進し、文化、社会及び経済の分野における国際協力に寄与することを目的として1874年に設立。1948年から国連の専門機関。近年、電子商取引を支える国際物流のルール形成機関としての役割への期待が高まっている。
- ② 現在、192カ国・地域が加盟（日本は1877年に加盟）。
- ③ 原則4年に一度、万国郵便大会議（UPUの最高意思決定機関）を開催し、事務局長選挙を実施。今次大会議（第27回）はアビジャン（コートジボワール）で開催。

UPUの構造



日本の貢献

- 1957年以降、継続して郵便業務理事会の理事国。
- 最大分担金（50単位、約2億5千万円）を負担する4大国（日・米・英・仏）の一角（中国は第7位）。
- 目時政彦日本郵便株式会社常務執行役員は、2012年からPOC議長を務めている。
- 東日本大震災の経験を生かしたUPUの災害対策プロジェクト等の活動支援のため、分担金とは別にJapan Fundとして年間約2億5千万円を拠出。